

【日 程】 2019年10月18日（金）～20日（日）

【宿 舎】 ペンションレラ

【撮影地】 裏磐梯高原 各所

【撮影対象】 紅葉風景、高原風景、沼・池・湖の風景

【参加者】 10名 相澤、浅羽、遠藤、内山、太田、大星、香取、高橋、仁井、田中

第1日：10月18日（金） 曇り

7時30分に新宿から高速バスで出発した。東北高速道を順調に走って、11時14分に猪苗代駅前に着き、少し歩いて蕎麦屋で昼食を取った。13時8分発の路線バスで小野川湖入口まで乗り、そこから宿の迎えの車に乗り換え、14時50分宿に着いた。すぐに撮影の用意をして15時10分宿の車2台に分乗して出発した。今年の裏磐梯の紅葉は暑さと長雨のため1週間～10日ほど遅れ、標高約800mの湖の付近ではまだ紅葉していなかった。車は高い地点を目指して30分ほど走り、標高1400mの白布峠近くの錦平に着いた。前面の斜面は一面黄色や赤に色づき、遠方の斜面には霧がかかり見事な紅葉風景を見せてくれた。折しも少し陽が射し、青空も顔を見せ30分ほど夢中で撮影した。

少し下りて白布峠では紅葉の斜面と眼下に見える桧原湖を撮影した。前夜に降った雨のお陰で遠景には霧がかかり良い風景になった。日没の撮影を期待して待ったが雲が多く、17時5分に諦めて帰路につき17時35分に宿に着いた。

温泉を楽しみ夕食を頂いた後、宿のオーナー（写真家）が撮った裏磐梯の四季のスライド100枚を見せた。



第2日：10月19日（土） 強い雨後曇り

夜中は台風の影響による強い雨が降り続き、早朝撮影に出発予定の4時30分にもまだ止まず、早朝撮影は諦めた。雨も止み6時5分に車を出し、6時35分中津川渓谷に着いて橋の上から撮影した。この場所の最盛期の紅葉は見事だが、まだ一部の紅葉だった。激しい溪流の兩岸の緑の中の紅葉や濡れて黒光りする岩などを橋から見下ろして撮った。

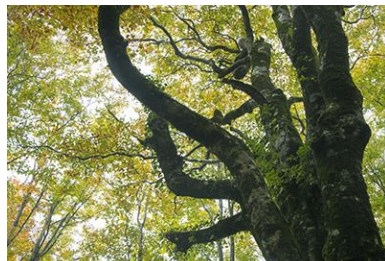
帰路7時20分眼下に秋元湖を見下ろす標高1000m地点に車を止めた。紅葉が進んで晴天なら遠方に磐梯山も見える良い撮影ポイントだが、今回はそうではなかった。7時45分宿に帰り朝食を頂いて、しばらく休息をとった。

10時に再び車を走らせ、桧原湖南方の道を上って八方台に着いた。このあたりは一面ブナ林で、歩いてブナ林に分け入り各人撮影対象を見つけて12時迄撮影した。ここは磐梯山登山口で休日は駐車場が一杯になるとのことだった。少し下がって黄金平で暫く撮影した後宿に帰って昼食を取った。

休息の後15時に再び出発し八方台手前の望湖台駐車場から小道を歩いてバヤ池に着いた。ここの紅葉は素晴らしく色々な角度から池の紅葉と映り込みを撮影した。

16時頃近くの小さな沼で道路際から撮影した後宿に帰った。

夕食後昨夜に続きオーナーが撮った裏磐梯四季の写真を鑑賞した。地元で撮影するだけあって、良いチャンスを捉えた写真は、2～3日訪れる人には撮り難いものがあった。



第3日：10月20日（日） 小雨後曇り後晴れ時々曇り

出発予定の4時25分には小雨が降っていて、日の出は雲が多くて無理だろうという判断で中止とした。ゆっくりしていると突然オーナーの出発するという号令が響き、急いで用意して5時30分に出発した。雨は止み空が明るくなり始め、雲に少し色も付いていた。道を急いで5時50分に秋元湖岸に着き、明るくなり始めた空に色の付いた雲が浮かび、霧のかかった湖の風景を撮影した。強く色づくことは無かったが、空の様子は刻々と変わり湖面の輝きも見えてきた。やがて太陽が雲の上に顔を出し始め、湖面に映る光芒も強くなりシャッターを切り続けた。

太陽が明るくなったので車を移動し、桧原湖南方の細い道に進んだ。裏磐梯には約300の沼があり、無名のものが多い。その一つの無名沼で、大きな樹に絡む紅葉した山葡萄を中心に水草や葦のある沼の風景を撮影した。

7時35分宿に着き朝食後オーナーから地図で今回の撮影ポイントの説明を受けた。

これで今回の宿の案内は全て終了、出発の支度をして9時45分五色沼入口まで送ってもらった。

10時から五色沼で撮影を開始した。出発の路線バスの時間を決めて、夫々に行動することとした。反対側の入り口まで約4kmを通り抜けて五つの沼を巡って撮影する人、適当な地点で引き返す人色々だった。夫々のグループで昼食後、別々の停留所から同じ路線バスに乗って14時20分に猪苗代駅前に着き、15時発の高速バスに乗車した。途中高速道路の渋滞があり約1時間10分遅れたが、20時30分無事新宿駅バスターミナルに着いて解散した。



【撮影旅行を顧みて】

台風から大きく広がる雨雲のため関東～東北地方は強い雨が予想されており、雨の中の撮影を覚悟して出発したが、幸いなことに裏磐梯では夜に強い雨が降ったが、撮影する時にはほとんどの時間雨は降らず恵まれた状況であった。残念ながら夕景の撮影は出来なかったが、夜の雨の後の濡れた紅葉や霧の発生は良い撮影条件になった。今年の紅葉は大幅に遅れたが、裏磐梯では大きな標高差があり、宿のオーナーは紅葉が進んでいる標高の高い地点を選んで案内して頂いたのも、良い撮影が出来た。

皆様のご協力のお陰で無事実りのある撮影旅行を終えられたこととお礼申し上げます。